



平成26年3月に設立しました山都フットパス協会の会長を拝命しました、荒木 貢でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

フットパスとは、イギリスを発祥とする楽しく歩く(foot)小路(path)のことです。

森林や田園地帯、歴史的な景観、町並みなど、地域に昔からある、ありのままの風景を、ゆっくりと心と体で感じながら歩きます。

耳元を流れる風、鳥のさえずり、自然の香りや町並みの色、歩く道の途中には色々な出会いが待っています。自然や地域の景観に浸るばかりではなく、歩きながら地元の人たちとの暖かなふれあい、美味しい特産品をいただくなど、スローな寄り道もフットパスならではの楽しさです。

日本にも広がるフットパス

小さな農村だろうが、どなたでも、歩いて心豊かな道と道、景観のいい道を、ちよっとした工夫でつないであげると、楽しいフットパスコースになります。日本でも1980年頃からフットパスを作る動きがありましたが、近年、地域振興、町おこしなどで、フットパスを整備する自治体や市民団体なども増え、各地に魅力的なフットパスコースが続々と誕生しています。



山都町フットパス協会では、イギリスの国民的活動「フットパス」の日本版を山都町内に整備した「山都町フットパス」の8コースが完成いたしました。平成26年度より町内を調査し、コースづくり、コースマップ、道標識等を整備してきました。

この活動は、歩くことにより滞在時間を延長し、新しい町の楽しみ方を提案しています。一過性のイベントではなく、マップを入手した人たちが、都合の良い季節、時間に自由に歩くことが出来る仕組みです。歴史や文化、農村景観、地域との交流など多様な楽しみ方ができます。

協会では、フットパスを活用して健康づくりや地域活性化に取り組み地域や個人会員を募集しています。

フットパスの取り組みやコース作りについては地域の方々のご理解とご協力が必要となります。フットパスにご興味のある地域や個人の皆様のご連絡をお待ちしています。下記までご連絡ください。



山都町フットパス協会事務局
山都町役場 山の都創造課 【担当/興梧・中川】
TEL 0967-72-1158 FAX 0967-72-1080



山都町消防団 新体制で町を守ります

山都町消防団が新体制でスタートしました。総団員657人を率いる境 公夫団長以下本部役員を紹介します。



団長 境 公夫



副団長 松岡 和博



副団長 藤田 敬人

東部方面隊



東部方面隊長(副団長) 佐藤 剛



第11分団長 佐間野 俊祐



第8分団長 藤川 尚也



第12分団長 山村 哲也



第9分団長 佐野 綾一



第13分団長 山邊 剛



第10分団長 本田 貴信



第14分団長 甲斐 真也

西部方面隊



西部方面隊長(副団長) 下山 久義



第4分団長 山下 修一郎



第1分団長 中川 盛博



第5分団長 渡辺 大祐



第2分団長 原住 典明



第6分団長 中川 淳



第3分団長 藤永 成一



第7分団長 藤本 祐一郎

第10回 日向往還歴史ウォークin山都町

3月21・22日の2日間、日向往還歴史ウォークin山都町が行われました。合併を機に誕生したこのイベントも第10回を迎え節目の大会となりました。

1日目は、通潤橋から馬見原商店街までの「めざせ馬見原コース」と「馬見原ご利益巡りコース」の2コース。そして、2日目は御船町上野の鼎春園をスタートし、通潤橋を目指す「めざせ通潤橋コース」と「浜町散策コース」2コース。両日とも天候に恵まれ、県内外から575人が参加。参加者は思い思いに歴史ある往還を歩いて山都の春を楽しまれました。

今回も馬見原まちづくり協議会や語り部の会による名物ガイドの活躍や往還沿線では地域の方々が、コース沿いの公民館を開放し、お茶などを提供する休憩所が設置され参加者へのおもてなしが行われました。

また21日には、宮崎県五ヶ瀬町主催で馬見原から五ヶ瀬町まで歩く「日向往還山頭火ウォーク」が開催され、スタート地点の馬見原交差点では合同の出発セレモニーが行われ日向往還の広がりが感じられた大会となりました。

かつての日向往還を往來する旅人を支えたように、今大会でもたくさんの方々の協力やおもてなしが随所に感じられる歴史ウォークとなりました。

